



▶当日の様子

国際医療福祉大学大学院「処方箋」が1月9日都内にて開催された。研究所が主催する医療シンポジウム「医療改革へのターナーの大島伸一総長による『待ったなしの医療改革』、厚生労働省健康医療課の宇都宮啓

課長による「医療改革にむけた診療報酬」と題した基調講演が行われた。

またパネルディスカッション、「医療提供体制の改革をどうすすめられるか」では、コーディ

高橋泰教授、厚生労働省副会長、日本慢性和医療協会の武久洋三会長、国政局の梶尾雅宏指導課長らが登壇した。

「亞急性」は病床再編と診療報酬において整合性が取れていない」というよ

亞急性の増加見据む

改定を行う必要がある」と指摘。高橋教授は、「どことん型(急性期)

と「まあまあ型(亞急性)

医療」と「まあまあ型

医療」で構成される

議論を経たうえで診療報酬

施設リユース充実

マッサージ充実

猪口副会長は「病床機能分化、区分決定などの議論を経たうえで診療報酬

と指摘。高橋教授は、「どことん型(急性期)

医療」と「まあまあ型

医療」で構成される

議論を経たうえで診療報酬

第28回 口系企業にチャンス到来

先日、中央政府は「シニア様な介護サービスで高齢者アサービス展開に関する意の要求を満たす。

見」を発表し、それが中国シニア業界にとっての朗報となりました。以下がそのポイントです。

1、行政と社会全体がシニアサービスを取り入れ、サービス制度を完備し、制度化により、社会全体の力を利用して二つの多様性に対応する。

2、在宅ケアと施設ケアのほか、さまざまなシニアサービスを展開し、集団介護と在宅介護を実践する。

3、シニア市場体制を構築する。市場の基礎を作り、平等競争の中で、シニア事業を展開する。低価格で便利なサービスを提供し、多

中国政府、シニア産業に前向き

中国の



マーケット

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リボーンシリーズを関西圏で展開。中国市场開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

ゲストハウス社長
松山英樹

サ付き
事例中、

(社)高
機構(東京
12月12日、
区で第13回
を開催する。
内容は日
学専門職大
井上由起子
括ケアにお
住まい」と
大学建築学
口健太郎氏が
付き高齢者
建築計画・事
一マに講演を
また、東
局より「サ
齢者向け住
制度について
会場はワニ
3階ホール。
会員・情報
一般は300

な資本、場所、人員育成などを支援する。手続きを簡略化、規範化、情報共有化し、外資投資や個人が経営する小規模施設などを歓迎、事業転換を支援する。

8、医療サービスと介護サービスを融合させた施設を設立する。医療サービスは高齢者が優先的に利用できるようにする。

また、海外の介護先進国

5、新たな土地開発時の必ずシニアサービス施設を併設させる。

6、在宅サービスを促進化させる。生活援助、医療介護、福祉用具関連製品、娯楽、金融サービス、高齢者旅行などのサービスを産業化させる。

7、政府は、民間企業が展開するシニア事業に必要なサービスを提供し、多

く、さまざまなシニアサービスを展開し、訪問看護サービスの充実を